



# 山大病院だより

特集

## 美祢市立病院で附属病院若手医師による「地域医療教育支援プロジェクト」開始!



医学部附属病院では、平成24年6月1日から、美祢市立病院に「山口大学医学部附属病院初期診療室」を置き、3名の医師(内科2名、小児科1名)を、それぞれ週に1.5日派遣します。派遣された先生方は、本務として、医学部学生から臨床研修医までを対象とした地域医療及び初期対応の指導にあたりつつ、それぞれの専門領域の診療に従事します。

この取組みは、文部科学省「医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保」事業\*1を活用した取組で、医師の派遣による地域医療への貢献と、同市立病院に地域医療教育における初期診療ランチ病院としての機能を持たせ、地域医療マインドの涵養・地域に貢献する医師養成の基盤強化を目的としています。これにより、本学の医学部学生から臨床研修医までのプライマリ・ケア及び一次・二次救急を重視した教育研修体制が整備されます。さらには、地域医療と高度医療を実践することで、地域医療連携型の高度な医療技術を有した

医師の養成も目指します。

5月30日(水)には、本学と美祢市との合同記者会見を美祢市立病院で行い、岡病院長は、「美祢市立病院との連携は、地域医療への改善にもつながるとともに、三次救急医療が中心である本院の臨床研修医プログラムに一次・二次診療を補うことで、教育研修体制がさらに整備・充実され、地域医療マインドを持つ医師の養成に繋がります。美祢市立病院が、山口大学医学部附属病院の臨床研修医や学生の教育のランチとして活躍していただけることを期待しています。」と、この取組に対する熱い想いを述べられました。

**\*1 文部科学省「医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保」事業とは?**

若手医師が医学部・大学病院において教育や研究活動に従事できる環境を整備するとともに、地域医療支援人材として地域の医療機関で診療に従事することにより医師不足対策に貢献することを目的とした事業。補助金額は、12百万円。国立大学31大学を含め、全国で41大学が採択されている。

# 山大病院NEWS

ホットなニュースをご紹介します。

## 病棟デイルームをリニューアルしました

このたび、3月下旬に、本院1病棟各階デイルームのテーブル&椅子を全てリニューアルしました。

これまでのテーブルと椅子に加え、岡病院長の意向から、待ち時間を過ごされるご家族がくつろげるようにと、ソファも新たに設置しました。清潔感のある素材にし、産科・婦人科病棟には、ソファの数を増やすなど、利用される方目線での改善に心がけました。

配色は「赤ちゃんと女性ばかりなので、やわらかい雰囲気の色」「あたたかい色」「元気が出る色」「カラーセラピーの研修を受けたスタッフのアドバイス」「ロービジョンの方にも



目にやさしい色」「落ち着いた色」「やさしい色」「さわやかな色」「清潔感がある色」「最上階で日当たりが良いので、映える色」など、各階の様々な意見をもとに決定し、患者さまやご家族の方々に配慮した特色あるデイルームになりました。

花田看護部長の「今回のリニューアルにより、本来のデイルームの目的である、快適な環境で過ごしていただき、患者さまに日常を感じてもらえるとうれしい」との言葉のとおり、今後、多くの皆さまに親しんでいただける病院を目指してまいります。

## Human

# 人

山口大学医学部附属病院にまつわる方々を紹介します。

## 新人研修医にインタビュー!



所属は 歯科口腔外科です。

- Q お名前は?
- A 小出裕実子
- Q 性別は?
- A 女
- Q 血液型は?
- A O型
- Q 出身地は?
- A 周南市
- Q 地元自慢を おながいします?
- A 夜になっても、出光の工場の火で外灯いらすッ!
- Q お名前は?
- A 小さかった頃、なりたかった職業は?
- Q 科 捜研の女性的な職業
- Q ところで、犬派?ねこ派?
- A かツツかめはめツツ
- Q 趣味は?
- A 読書
- Q 好きなスポーツは?
- A するならバレ、観るなら何でも!
- Q 仕事をしている中で、楽しいこと(うれしいこと)は?
- A 褒められてのびるタイプです。
- Q 反対に、苦しいこと(辛いこと)はありますか?
- A 褒められてのびるタイプです。
- Q さいごに:どんな歯科医師を目指されていますか?
- A 患者さんのニーズに 応えられるような 歯科医師になりたいです。

## Report

# イベント・レポート

様々な出来事をご紹介します。

## 平成24年度「白衣着式」を執り行いました

4月6日(金)、平成24年度白衣着式を、執り行いました。当式は、毎年、医学部同窓会である霞仁(かすみ)会から、医学部5年生に白衣が贈られるもので、福本霜仁(かすみ)会会長、坂井田学部長、岡病院長、花田看護部長をはじめ関係者が出席しました。



最初に、坂井田学部長から、実習への心得として「実りある実習を心がけて欲しい」との訓辞があり、福本霜仁(かすみ)会会長から「同窓会から白衣でエールを送りたい」との祝辞の後、学生代表へ白衣が授与され、新しい白衣に身をつつんだ代表の村上駿一(しゅんいち)さんが「喜びと責任の重さを感じる。精一杯学びたい」と謝辞を述べました。

続いて、岡病院長から、「医学部附属病院の4つの理念を肝に命じて実習し、成長してほしい」と期待を込めた挨拶がありました。

- 医学部附属病院の理念
- 一、患者の立場に立った 全人的医療を実施する。
  - 二、将来を担う医療人を 育成する。
  - 三、世界に発信する 先進的医療を推進する。
  - 四、地域医療を発展させる。

## 病院整備計画室の 看板掲式が設置されました



本院では、高度医療の提供や優れた医療人の育成など、地域医療に対する一層の貢献を目指した病院整備計画を検討しています。

これまで、院内のワーキンググループを中心に病院整備計画を検討してきましたが、さらなる検討の加速化を図るために、この度「病院整備計画室」が設置され、4月18日(水)に看板掲式を挙行了しました。

式では、初めに岡病院長および谷澤副院長(WG座長)によって看板が掲げられ、引き続き、岡病院長から「平成25年度概算要求に向けて全力で取り組んでいきたい」と挨拶がありました。また、谷澤副院長から、「高度医療、医療人の育成等に対応した夢のある病棟をつくりたい」と抱負が述べられました。最後に関係者で記念撮影を行い、看板掲式は終了しました。

同計画室では、整備計画の立案と調整、債務償還計画等の業務を行うこととなりますので、皆様のご協力を願います。

## 書家 矢田桂雪様より書画の 寄贈及び感謝状の贈呈



書道研究玄遊会名誉会長でもある書家 矢田桂雪様から本院へ書画を寄贈いただきました。5月7日(月)、看護部長室にて岡病院長から感謝状の贈呈が行われました。

これは、矢田様が本院に入院されたことが縁でご厚意により寄贈いただくことになったもので、「気力ががんばろうや」としたためられた書には、入院中のこともたちや皆さまが見て頑張ろうと思ってもうえたらとの想いが込められています。

岡病院長は、「なごやかで心温まる作品。大切にさせていただきます」と謝意を述べました。作品は、本院一病棟5階EVホールに展示しておりますので、ぜひご覧ください。

## 防火訓練を実施しました



屋内消火栓使用方法の説明の様子

4月24日(火)、宇部市消防本部の指導協力の下、防火訓練を実施しました。

前半は、新規採用者および転入者を対象として、防火・防災に関する心構えについて防火ビデオと消防本部の方による講話から、火災が起きたときの注意点や対処方法を学びました。

後半は、全職員を対象とした消火器、屋内消火栓の使用方法の説明、操作訓練等を行いました。消火器の操作訓練では、粉末の代わりに水を用いた訓練用の消火器を使用し、実際の火事が発生したと想定して訓練しました。



消火器の操作訓練の様子

## 「松下村医塾2012 PART2」特別講演会 クリニカル・クラークシップ ー臨床研修との一体化の試みー



5月1日(火)に第三講義室において、東京医科歯科大学から医学科教育委員会委員長田中雄二郎先生をお迎えし、特別講演会を催しました。同大学では、

医学部生の卒前の臨床実習を、従来の見学型の内容から、学生に医療チームの一員として一定の役割や責任を持たせ、積極的に実習を行わせるという参加型への改革に取り組んでいます。2006年から学生の約1割をハーバード大学の臨床実習に参加させる取り組み

や、参加型臨床実習の導入を進めてこられた学内での経験を中心に、良い点や課題となった点などを、講演されました。

院内外計103名の参加者があり、大変盛況でした。終了後のアンケートでは、「指導できるスタッフ・時間の不足」「学生にPHS

配布をなどの意見も寄せられました。本講演会の事前資料DVDは、各診療科に配布する予定としていますが、是非一度、各診療科・部署などにご覧頂き、今後の参考にして頂けると幸いです。

医療人育成センター 研修医・専門医支援部門



平成24年度

# 「看護の日」記念行事を開催!!

5月9日(水)、医学部附属病院外来棟1階ロビーおよび2階フロアにて、「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに「看護の日・看護週間」の記念行事を開催しました。

はじめに、岡病院長から、「今後、当院の機能強化を図るに当たって、看護師が医療の要として、ますます活躍してくれることを期待しています。」と挨拶がありました。続いて、「看護の日」のお祝いと感謝の意を表して、岡病院長および阿部事務部長から花田看護部長へ花束が贈呈されました。

行事では、看護師およびコメディカル職員が患者さんや来院された方々を対象に、「看護の日」記念グッズの配布・介護用品の展示、医療・栄養・福祉・健康の相談コーナーおよび禁煙啓発コーナーを設け相談に応じました。また、アドバンストナーシステム※1による脳年齢測定、血糖測定なども行いました。

さらに、看護部の取り組みやセールスポイントを紹介したパネルを展示し、当院の医療・看護の魅力および内容を発信しました。また、写真や前年度好評だった川柳も展示し、来院者たちが足をとめてそれらを見入っている姿が見受けられ、今年度も記念行事は盛況のうちに終了しました。



## 看護の日記念行事を開催して

看護部長 花田千鶴美

5月9日、外来棟玄関ロビーにおいて「看護の日記念行事」を行いました。約600人の患者さん、ご家族、職員の皆様方に参加していただき盛会でした。

今年も岡病院長をはじめ先生方から驚くほどたくさんのお花で「看護の日」を祝っていただき、看護部一同感激しています。

「看護の日」は看護を受けられた一患者さんの感動体験がきっかけとなり制定され、今年で22年目を迎えています。

今年、日本看護協会「看護の日」のメインテーマは「ここまで、見る」です。私達、看護職は24時間、患者さんに寄り添い、からだだけでなくここまで見守り、支える看護をめざしていることを再確認する1日になりました。

この記念行事の開催にご協力いただいた皆様方に深く感謝いたします。



※1アドバンストナーシステム

日本看護協会等で資格認定を受けた「専門看護師」「認定看護師」がチームを組み、各専門分野において看護の質向上に携わっています。山口大学医学部附属病院では、現在専門看護師1名・認定看護師21名で構成されており、構成人員数としては全国で6番目に多く、病院スタッフへの教育・指導や患者相談など様々な場面で活躍しています。



## 川柳コーナー 優秀作品

- 巡視して まだ寝ないと 労われ
- 小さな手 大きな願い 握ってる
- 看護師さん ホれてまうやろ その笑顔
- 嗚呼そうだ 寝る頃になり 思い出す
- まっさらの 白衣を身にし 気がしまる

## 写真コーナー 優秀作品



## パネルコーナー 優秀作品



# SCHEDULE

## 小串地区安全衛生推進員連絡会

- 日時 6月7日(木)  
17:30～18:30
- 場所 総合研究棟1階S1
- 対象者 小串地区安全衛生推進員

## 接遇研修会

- 日時 7月30日(月)  
17:30～18:30
- 場所 第三講義室
- 対象者 全職員

ビデオによる  
研修会

- 8月6日(月) 17:30～18:30
- 8月7日(火) 16:10～17:10  
17:30～18:30
- 8月8日(水) 17:30～18:30

## お知らせ(TV放送)

## Announcement

「山口から世界へ!」世界をリードする最先端の研究をわかりやすく地域へ紹介!!

「医進! 前進! ～山口大学医学部研究室探訪～」

**放送日** 毎週水・土・日曜日  
11:45～12:00、20:00～20:15  
※放送時間は、変更される場合があります。

**放送局** 山口ケーブルビジョン(ケーブルTV)

上記時間帯にて、絶賛放送中!!

## 病院陸上部部員募集中!

心から市民マロン・ロードレースを楽しむ目的で、有事の際にはソロ/チームで心肺蘇生法を実践し、平時にはランナーとして自己研鑽することを目指して病院陸上部を結成いたしました。

市民マロン大会・ロードレースが季節を問わず全国で実施され、その数は1年間に2,000を超えるといわれています。山口県下でも下関海峡マロン(参加者数約1万人)や萩城下町マロン(参加者数約4千人)をはじめとして、多くの大会が開催されるようになり地域



平成23年12月11日萩市城下町マロンにて嶋原清子招待選手(前列中央)を囲む医務室ボランティアの方々と

振興にも大きく寄与しております。しかしその反面、中高齢選手の増加や、フルマロンなどの長距離競技志向と相まってランナーの心停止や突然死も問題となってきています(統計では、1万人の出場者に対して1件の心停止が起こるといわれています)。このような状

況を配慮し、地域のマロン大会に、“病院陸上部チーム”として出場することは、他のランナーや市民ボランティアの方々にも安心感を提供し、小さな地域貢献にもなると考えております。なお心肺蘇生法の指導には、日本循環器学会BLSインストラクター資格の部長他の経験者が丁寧にまいりますので安心です。

部活としては、毎週水と金曜日の夕方に真締川河川敷コースを走っています(雨の日は心肺蘇生法とAEDの練習です)。かなりゆるい部活ですので病院職員と学生(医学科・保健学科)なら誰でも参加可能です。ただし部員には最低限年一回の試



いざという時はこれを使います。



ある日の病院陸上部。当然ですが、業務と勉強が最優先なので走れる人と走れない人がいます。

合出場もしくは、心肺蘇生法による人命救助のノルマが課せられます。また、部活はYAHOOグループメールで運営していますので分かり易く、とても便利です。興味のある方は是非お近くの陸上部員に連絡を取って下さい。

**連絡先** 母子看護学講座 沓脱 小枝子(22-2847)もしくは地域医療推進学講座 中村浩士(22-2196)まで。

## 「山大病院だより」へのご意見・ご要望をお待ちしています!!

新年号からリニューアルしたの本誌「山大病院だより」。今後、ますます充実した誌面にしたいと考えておりますので、読者である皆さまからの活発なご意見・ご要望をお待ちしています。

- こんな情報を取り上げてほしい
- こんな特典があれば嬉しい
- このコーナーが面白かった/面白くなかった etc.

ご意見・ご要望はこちらへ

FAX 0836-22-2113  
E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

すぐ使える  
豆知識  
コーナー

ハーブを使ったまめまめ情報

<虫よけスプレーの巻>

●使用ハーブ→レモングラス

① 濃いめに抽出したレモングラスティーを冷めます

② スプレー容器に入れて、はいできあがりです

簡単  
すぎる

\*乳幼児・敏感肌・妊婦さんも安心して利用できます\*

\*保存料等が入っていないので、その日のうちに使いきりましょう!

\*余ったら、ジンジャーエールで割って飲んじゃいましょう!!

## 編集後記

### ● 編集担当(総務課・総務係：H.N・M.A)

6月に入ると、気分はじめじめ・髪の毛はもやもや…嫌な季節ですね。  
今回は、話題もりだくさんの号に仕上がったのでは??  
と思っています♪  
お忙しいとは思いますが、手を止めて読んでいただけ

た皆さま…ありがとうございます☆  
春からの疲れが出ているのか、体調を崩している人が  
周りに多いですが、皆さまどうぞご自愛くださいませ★  
また夏にお会いしましょう(\*^ ^\*)

